

## テーシス形式の博士論文表紙見本

注意：

- ・ 製本はハードカバーの黒表紙で、文字は白文字、金文字または銀文字とする。
- ・ 提出後は題目（副題を含む）および本文の変更はできない。
- ・ 項目およびその順序はこの通りとし、フォント等のデザイン、フォーマットは自由とする。

# 神奈川歯科大学大学院歯学研究科 2022年度 博士論文

全角2文字分空白

和文タイトル

論文タイトル

神奈川歯科大学の多機能化と評価法

2022年8月20日

大学院教授会（合否判定）  
の年月日を記入

氏名

神奈川 一郎

申請者氏名

- ・ アルファベットの場合は下に  
カタカナ名を併記する。

Ichiro Kanagawa

所属

神奈川歯科大学大学院歯学研究科  
環境病理学分野 注1

申請者の所属

30mm 空ける

注1：正式な所属名を記載する  
分野が無い講座でも記載している  
ことがあるので注意する

## テーシス形式の博士論文内表紙見本

注意：

- ・ 内表紙は黒文字とする。
- ・ 項目およびその順序はこの通りとし、フォント等のデザインおよびフォーマットは原則的に自由とする。

# 神奈川歯科大学大学院歯学研究科 2022年度 博士論文

神奈川歯科大学の多機能化と評価法

和文タイトル

大学院教授会（合否判定）  
の年月日を記入

2022年8月20日

神奈川 一郎  
Ichiro Kanagawa

申請者氏名

- ・ アルファベットの場合は下にカタカナ名を併記する。

神奈川歯科大学大学院歯学研究科  
環境病理学分野 注2  
槻木恵一教授 指導

所属と指導教授名  
を併記する。

注2：正式な所属名を記載する

基となる論文がある  
場合記載する。

このテーシスは、槻木恵一，神奈川太郎．神奈川歯科大学口腔科学講座の現状解析．神奈川歯学 100：1-12，2065．を基に新たなデータを加えたものである。

論文内容要旨 (明朝体 12 ポイント、ダブルスペース 35 文字×40 行程度)

論文審査要旨

本審査委員会は申請者が博士 (歯学) の学位に十分値するものと認めた。

2022 年 8 月 20 日 ← 大学院教授会 (合否判定)  
主 査 : の年月日を記入  
副 査 :  
副 査 :

## 博士論文背表紙見本

注意：

- ・ このフォーマットに従うこと.
- ・ フォントはゴシック体 (bold face) とする.
- ・ フォントサイズは適宜決めてよい.
- ・ 白、金あるいは銀文字とする

35mm 空ける

全角 1 文字分空白

全角 2 文字分空白

2022年度  
博士論文

神奈川県歯科大学の多機能化と評価法の研究

所属

氏名

30mm 空ける

環境病理学分野

神奈川  
一郎

## 目次 (必須ではない)

緒言	1
実験材料 (対象) および方法	10
結果	20
考察	30
結論	40
謝辞	41
文献	42
表および図	
表 1	50
表 2	51
図 1	52
図 2	53

本文

← 本文から通しページを付ける

緒言 (明朝体、12ポイント、ダブルスペース、35文字×20行程度)

実験材料 (対象) および方法

結果

考察

結論

ページ番号

・ 本文から通しページを記載

謝 辞

文 献 (神奈川歯学の記載法に準じる。)

★ 図と表は原則1ページにつき一組（例：図が a, b, c の3枚あるような場合は同じページに配置する）とする。

★ 説明は全て図および表中に記載する。

表 1

50 ← 図、表のページ番号

---

改ページ

表 2

51

---

改ページ

図 1

52

---

改ページ

図 2

53